

創造力と競争力を備えた国、カナダ

カナダへの投資 (インベスト イン カナダ)

金メダルをめざせ

2008 - 2009 年度版

Canada 



柔
竟
優

安定性

実力、競争力、優秀性、柔軟性、安定性 競争力のあるビジネス環境、世界有数の研究開発インフラ、才能豊かで実行力のある人材のおかげで、カナダは強い経済力を実現してきました。景気の良し悪しに関わらず、カナダは長期的な持久力を発揮し、世界市場において常に好ましい状態を維持しています。

ビジネスに有利なさまざまな条件を備えたカナダにご注目ください。

競争力

優秀性

実力

カナダの強み

カナダは過去10年以上にわたり、G7諸国で経済成長の金メダリスト

激動の世界経済において常に安全を求める海外投資家に、カナダは他のG7諸国をはるかにしのぐ安定性と成長見通しを提供します。

強く、安定し、かつダイナミックな経済環境を持つカナダは、最もビジネスに適した国と言えます。航空宇宙部門からソフトウェア、ライフ・サイエンスに至るまで、世界で最も革新的で成功している企業の多くがカナダに拠点を構えています。次なる投資は、是非カナダへ、そして成功した企業の仲間入りをしてください。

経済的に不確実な昨今にあっても、進出企業の成功を支援するため、カナダでは税制面での優遇措置や研究開発への奨励策が設けられています。高い教育と才能を備えた多様な労働力もカナダのもう1つの魅力です。また、北米市場への最も有利なアクセスと共に、高い生活水準と安全なビジネス環境も約束しています。

世界トップクラスの業績

- カナダは過去10年以上にわたり、国民総生産（GDP）および雇用成長においてG7諸国のトップです。
- 英国の調査機関、エコノミスト・インテリジェンス・ユニット（EIU）によれば、2009～2013年の実質経済成長率は、G7諸国の中でカナダがリードしています。
- EIUにより、G7諸国の中で、カナダは今後5年間にわたり投資および事業展開を行う場所として最も有利な国と位置づけられています。
- 世界経済フォーラム（WEF）の2008～2009年度世界競争力レポートでは、カナダは世界で最も健全な銀行システムを持つ国と評価されました。
- 世界の代表的なエコノミスト達の一致した予測では、2010年はカナダがG7諸国の中で最も早い景気の回復を実現し、2.3パーセントの経済成長を見込んでいます。
- 1990年代半ば以来慎重な財政政策を執った結果、カナダは11年間連続して財政黒字を記録し、債務の削減に成功しました。このため、現在経常赤字や対外純債務が膨れ上がっている米国や他のG7諸国と比較して、はるかに安定していると言えます。🇨🇦



競争力のあるビジネス環境

海外からの投資を歓迎するカナダの投資環境が進出企業の国際的な競争力を支援

世界トップクラスの業績

- 国際経営開発研究所 (IMD) 発行の2008年度版『World Competitiveness Yearbook』によれば、カナダはG7諸国の中で最もビジネスをしやすい国として評価されています。
- カナダは、新規ビジネスに対する課税率が、2010年中にG7諸国で最も低い国になると見込まれ、さらに2012年までには、G7で最低の法定税率となることが見込まれています。
- KPMGによる2008年度版国別事業コスト調査によると、カナダは7年連続でG7中最も事業コストが低い国にランクされました。
- カナダは、調査を行なった17の業種のうち11業種（航空宇宙、農産食品、バイオテクノロジー、化学製品、医療機器、製薬、精密機械製造、製品試験、ソフトウェア設計、通信、Webおよびマルチメディア）において、G7で最低の事業コストを提供しています。
- 世界銀行は、G7およびOECD諸国の中で新規事業を開始するために必要な手続きが最も簡便な国として、カナダを第1位に挙げています。
- 世界経済フォーラム (WEF) は、関税障壁が低く免税となる輸入品目も多い点から、市場アクセスにおいてカナダをG7中第1位にランク付けしました。
- 2008年、IMDは、外国のパートナーとの国際商取引においてG7中最も開かれた法制度を有する国として、カナダを選んでいました。
- IMDによる2008年度版『World Competitiveness Yearbook』によれば、経済の変化に応じて政府が政策を微調整して効果的に施行できるようにしている点で、カナダはG7諸国をリードしています。
- カナダは製造業において実効法人所得税率がG7の中で最も低い国です。
- 非製造業においては、実効法人所得税率がG7中第2位となっています。
- 2008年、外国企業によるカナダへの直接投資は、5049億ドルに達しました（前年比で2.8%上昇）。
- カナダには研究開発 (R&D) を支援するための世界有数の税控除プログラムがあります。
- 2009年、カナダ連邦政府は、製造業、クリーンエネルギー、農産食品、林業、漁業、そして金融サービス部門の国内外の企業に対して、75億ドルの財政支援を計上しました。🍁

競争力のある事業コスト、低い法人税、規制緩和などのあらゆる面から見て、カナダには外国企業が投資を行い、国際競争に打ち勝つための好条件が揃っています。

今日の世界的に厳しい経済状況において、多国籍企業は強力な優遇措置を提供する国および地域を選択する必要があります。海外直接投資 (FDI) の奨励を目標に掲げるカナダは、世界で最もビジネスをしやすい環境を提供します。低い事業コストは、その中の1つの要素にすぎません。カナダは、FDIに対する簡便な諸手続き、および変化する経済状態に対応する柔軟な政策面でも、世界をリードしています。

税制の改善によってビジネスに柔軟に対応しているカナダは、海外からのビジネス投資を行うには最適な環境です。こうした優遇税制は、海外投資家に対してこれまで以上に強力な投資環境を構築するために打ち出された経済アクションプランの一環です。

“ 貿易黒字および財政黒字、現在の政府
による減税策、銀行による慎重な
融資などにより、世界的な不況
にもかかわらず、隣国カナダは
米国をよそに他の国々がうらやむ
地位にあります ”

Forbes Magazine誌による2009年度Best Countries for Business賞において、
カナダは第3位を受賞





各セクターのプロファイル

金融サービス



EFG ウェルス・マネージメント・カナダ
会長、
スティーブ・マッケイ氏

「カナダでの事業を迅速に決断させる要因は、適切な人材が豊富にあることです。」

- 2007年カナダの金融サービス産業は780億ドルの収益を上げ、75万人を雇用しています。
- 世界経済フォーラム (WEF) の2008~2009年度世界競争力レポートでは、カナダは世界で最も安定した銀行システムを持つ国と評価されました。
- カナダの金融とビジネスの中心であるトロントは、北米で第3位の金融センターです。
- 今日カナダの金融機関は、慎重なポリシーと国の厳格な金融監視・規制により、多様化し資金も豊富にあり、安定しています。
- 『Global Finance』誌は、カナダの銀行上位5社は、世界で最も安全な銀行として評価しています。

ソフトウェア



マイクロソフト・カナダ、
フィル・ソーゼン
社長

「カナダは優秀な人材の宝庫であり、マイクロソフトのような世界規模のテクノロジー企業がこの国での拡張を考えるのは、当然のことと言えます。」

- 2007年カナダのソフトウェア産業は322億ドルの収益を上げ、26万2000人を雇用しています。
- Software Magazine誌のThe Software 500ランキングでは、世界で事業展開しているソフトウェア企業の数において、カナダは米国に次いで第2位となっています。
- カナダに約3万300社ある情報通信技術関連企業のうち、77%がソフトウェアおよびコンピュータサービスに携わっています。
- カナダは、ビジネスインテリジェンス、サプライチェーンマネジメント、エンタープライズコンテンツマネジメント、人事管理、サービス (Software-as-a-Service)、Web開発、セキュリティソフトウェア、グリーンITソフトウェアなどのソフトウェア開発分野に著しい強みを発揮しています。

ワイヤレス通信



ノキア研究開発施設
(カナダ、バーナビー
市) 研究開発ディレ
クター、
ブラッド・ロウ氏

「ブリティッシュ・コロンビア州のバンクーバー周辺地域は、高度な研究開発施設の多くが集中し、成長を続けています。ノキア社も自信を持ってこの場所を拠点に選びましたが、当社のバーナビー事業所は、モバイル・コミュニケーションの新時代を先導する大きな力となっています。」

- 国際的にも有名なカナダのワイヤレス製造セクターは、2008年には生産した製品の76%を輸出しました。このセクターの専門技術は、1万4000人の労働力と146億ドルの国内サービス市場に支えられています。
- カナダのワイヤレス産業は、ネットワーク機器の設計、開発、製造、モバイルデバイスの製造、加入者宅内装置 (CPE)、WiMax ネットワークおよび機器の設計、開発、製造、ソフトウェア無線機器の製造などが中心です。
- カナダの携帯デバイス産業は、符号分割多重接続 (CDMA) インフラの販売において、世界第2位です。
- ギガビットイーサネットスイッチング製品では、世界第3位を占めています。

自動車



本田技研工業株式会社
代表取締役会長、
青木哲氏

「本田は連邦および州政府、地域コミュニティ、サプライヤー各社、当社の関連会社およびディーラー、そして何よりお客様からの、強力なご支援に支えられてきました。こうしたパートナーシップや当社の継続的な投資が物語るように、本田は、カナダはビジネスに最適な場所であると信じています。」

- 2007年カナダの自動車産業は967億ドルの収益を上げ、15万3000人を雇用しています。
- 1991年以来、J.D. Powerによる工場品質特別賞の3分の1はカナダの自動車組立工場が受賞しています。
- J.D. Power による自動車初期品質調査では、過去7年間のうち5年間、カナダのゼネラルモーターズおよびトヨタ自動車の工場が西半球で最も優秀な工場であると評価されました。
- EUは、カナダは自動車生産国の中で最高のビジネス環境を提供していると評価しています。
- 世界の自動車生産国トップ10の中で、カナダの法人税率は第2位の低水準を誇っています。

ビジネスサービス



キーン・カナダ社
サービス提供担当デ
ィレクター、
ジョン・ギリス氏

「ハリファックス市周辺には高レベルの大学やカレッジが多くあるため、企業にとって非常に有利です。当社も地元の教育機関と密な関係を維持しており、卒業生を雇用したり、業界の変化に関する情報交換を行ったりしています。」

- 2007年カナダのビジネスサービス産業は570億ドルの収益を上げ、110万人以上を雇用しています。
- 情報通信技術およびビジネスプロセスのアウトソーシングにおいて、カナダは世界で2番目に魅力的な国として評価されています。
- カナダでは、人事、給与管理、顧客関係管理、財務会計、データマイニング、ビジネス運営、災害対策支援などの分野におけるビジネスプロセスのアウトソーシング産業が発達しています。
- カナダは、ビジネスサービスの投資プロジェクトにとって最も魅力のある国トップ10に選ばれています。



プラトス・カナダ
ジェネラルマネージャー、
ベノア・ケッペン氏

「人口3000万のカナダ市場は、収益性が高く成熟しています。カナダは、自社製品に使用される最高品質の穀物など、多くの原料食材を生産しています。当社のビジネスには、信頼できる流通ネットワークへのアクセスが必須であり、カナダは最高の条件を提供してくれています。」

- 2007年カナダの食品および飲料加工産業は、28万6000人を雇用し、837億ドル分の製品を生産しました。
- カナダは穀物および油料種子の精製において世界をリードしており、30か国に350トン以上の穀物製品を輸出しています。
- 産地から食卓に至るまで、カナダは世界最高とされる食品検査システムを導入しています。
- カナダの農業バイオテクノロジーは世界をリードしています。
- カナダは、世界的にも人気の高い最終製品材料である小麦グルテン、生物活性化合物、さらにバイオベース産業への応用などにおける世界的なリーダーです。



WEICON社 北米担当
副社長、
ケビン・ユンゲル氏

「北米拠点を選択する際に、当社が米国でなくカナダを選択した理由は、カナダ政府が投資家に対して多大な支援をしてくれただけでなく、手続き全体が米国に比べて非常に簡単だったということが挙げられます。また、従業員たちに高い生活水準も提供できる点も、北米拠点の決定の重要な要素でした。」

- 2007年カナダのプラスチックおよび化学産業は810億ドルの収益を上げ、19万8000人の従業員を雇用しています。
- プラスチック産業に対して、カナダはG7中最低の生産コストを提供します。
- 2008年北米の鋳型メーカーのトップ3（さらに上位10社のうち6社）は、すべてカナダの企業です。
- 世界最大のプラスチックおよび化学薬品企業10社のうち9社が、カナダに生産拠点または研究開発拠点を構えています。
- 緊急予備資源を十分に保有するカナダは、プラスチックおよび化学薬品産業に投資する海外投資家に、規模の経済と低い生産コストを実現します。



ユビソフト・モントリオール社
社長兼CEO、
ヤニス・マラット氏

「ユビソフト社は、有利なビジネス環境とスキルの高い人材のおかげで、カナダにおける事業規模を拡大し続けています。」

- 2008年カナダ国内のデジタル・ゲームソフトウェア250社は1万4000人以上を雇用し、22億ドルの収益を上げています。
- カナダでは、この業界の500社が、ハードウェアから開発ツール、サポートツールおよびサービス、開発者およびパブリッシャーに至る、ゲーム産業のバリューチェーン全体を網羅しています。
- 北米で人気の高いゲームのうち、約20%がカナダのスタジオで開発されたものです。
- カナダは娯楽用途外のゲームにおける世界的なリーダーであり、業務トレーニングや国防、航空宇宙分野に応用可能な精巧なシミュレーションシステムを開発しています。



ロッキード・マーティン・カナダ、
トム・ディガン社長

「ロッキード・マーティン社の投資は、カナダの業界に最高の輸出チャンスを作ります。」

- 2007年カナダの航空宇宙産業は、民間機製造において8万2000人のカナダ人熟練労働者を雇用し、175億ドルの収益を上げました。
- カナダ企業は、大型フライトシミュレータや視覚システム、操縦トレーニングデバイスの設計および製造における世界的なリーダーです。視覚シミュレータにおいては、カナダ製品が世界市場で70%を締めています。
- カナダは世界第5位の航空宇宙部品の生産国です。
- カナダ連邦政府は、今後20年の間、国防用資材に2400万ドルの資本を投資することを約束しました。



グラクソ・スミス・クライン社社長兼CEO、
ポール・ルーカス氏

「整備されたインフラ、国際的にも名高い教育機関および臨床施設、効果的な法規制および特許保護政策を持つカナダは、当社にとって理想的な環境です。」

- 2007年の時点で、カナダの製薬企業は国内売上が190億ドル、輸出収入が63億ドルあり、カナダ全土で2万9000人以上を雇用しています。
- バイオテクノロジーの研究開発従事者数、特許申請数、研究開発支出において、カナダはG7諸国で最も高い成長率を記録していますが、バイオテクノロジー産業の人件費は最低に抑えられています。
- 保健研究分野の特許数で、カナダはG7諸国をリードしています。
- 2007年の時点で、カナダのライフサイエンス企業数は世界第3位です。
- 2007年には、カナダ国内で13億ドル以上がバイオ製薬関連の研究開発に投じられましたが、連邦税額の控除や減税により、かなりの部分が補助されています。



ENERCON サービス
ノバスコシア カナダ
担当サービスマネージャー、
マーカス・シーレ氏

「カナダは風力発電イニシアチブに対して、真のコミットメントを示しています。ENERCON社がカナダに投資する理由はそこにあります。カナダの人々がグリーンエネルギーを歓迎していることは明らかでも、こうした政府による効果的な奨励策やメッセージは不可欠です。」

- カナダの風力発電セクターには430社以上あり、全体で約4000人がこの分野に従事しています。
- 発電および配給ネットワークが北米の送電網に統合されていることから、カナダの風力発電への投資は世界最大の電力消費国（米国）へ直結しています。
- IBM社の『Plant Location International』ランキングで、ウィニペグ、シャーロットタウン、カルガリー、モントリオールは、風力発電機器のコスト競争力において北米トップ5に入っています。

研究開発に最高の環境

基礎研究と実用化を統合するカナダの研究開発インフラ

整備された研究開発インフラ、世界トップクラスの研究機関および科学者、研究開発に対する優遇税制などがすべて揃っているカナダは、研究開発に最高の場所です。

電球からスマートフォンテクノロジー、心臓ペースメーカーからDNA識別法に至るカナダの革新技術は、カナダで始まり世界へ広がりました。その結果、何億という人々の生活の向上に役立っています。カナダの研究者や科学者たちは、人類が向き合うあらゆる領域において、日々知識の最先端で働いています。

カナダの研究開発を主導するのは、カナダ生まれの研究開発モデルです。このモデルでは、カナダの科学者や研究者が行う基礎研究からビジネスへの応用プロセスが統合されています。この結果、開発から市場導入までが、他の先進国に比べて大幅に短い期間で実現できます。

世界トップクラスの業績

- カナダは、世界で最初に全国に高性能コンピューティング（HPC）ネットワークを導入した国です。これにより、世界初の国立光ファイバーインターネット研究教育ネットワーク「CANARIE」の能力を最大限に活用することが可能になりました。
- カナダに拠点をもち、研究開発に投資するすべての企業は、カナダ科学研究・実験開発プログラム（SR&ED）を活用できます。工業研究開発向けの連邦政府で唯一かつ最大の支援プログラムであるSR&EDにより、毎年50億ドル以上の税額控除制度を無制限に受けることが可能になります。
- カナダで行われた研究開発費に対する税引き後の正味コストは、1ドルに対して50セントをはるかに下回る金額で、JPWイノベーション・アソシエーツ社が2008年に行った調査では、世界最高レベルであると評価されています。🇨🇦



柔軟な労働力

信頼の置ける労働力

知識経済で最も重要な資産は、有能な労働力です。カナダは才能ある人材が豊富なことでも知られています。人材への投資と並行して、カナダでは2年間にわたり31億ドル以上の知識インフラを提供しています。

その結果、OECD諸国の中で最も教育レベルの高い人口を有する国になりました。世界トップクラスの学校や教育機関で高水準のトレーニングを受けた労働力が豊富なため、世界的な事業拡大・成功を目指す多くのビジネスが、カナダに注目しています。

世界トップクラスの業績

- IMDの『World Competitiveness Yearbook』によれば、G7諸國中、カナダは以下において第1位です。
 - 高校就学率
 - 金融プログラム
 - 才能のある労働者を引きつけて維持し、労働力を強化する能力
 - 新規のアイデアに対しオープン
 - ビジネス効率を高レベルに維持するために、経済および社会改革が必要な時期を見極める能力
- IMDによると、カナダはカレッジや大学以上の教育を受けた20~30代の大人の人口比が、OECD諸国で最も高い国にランクされています。
- Business Week誌の2008年度MBA調査では、米国以外の国のビジネススクールランキングで、カナダの3つの大学がトップ10入りしています。
- 世界経済フォーラム（WEF）がトップクラスのビジネススクールが提供する経営教育課程について125か国を比較した調査でも、カナダは上位10か国に入りました。
- Financial Times誌の2009年グローバルMBAランキングでは、世界トップ100の中にカナダの5つのビジネススクールが含まれています。
- 連邦政府はカレッジおよび大学教育に対し、毎年13億ドルの予算を計上しています。
- ビジネスを優遇する移民制度により、高い資格を持ち移住した人々が、カナダでその技術や能力を発揮できるため、知識労働者の安定供給が実現しています。
- 2006年度のカナダの国勢調査では、カナダでは200言語以上の言葉が母国語として話されているという結果が出ています。🍁



PHOTOS

Inside Front Cover

Upper Row: Canadian Curling Association/Michael Burns Photography

Central Image: Getty Images/Al Bello

Bottom Row: Skate Canada/Brett Barden

Page 4

Canadian Press/Frank Gunn

Page 12

Getty Images/Nick Laham

Page 13

Getty Images/Gary M. Prior

Inside Back Cover

Upper Row: Canadian Curling Association/Michael Burns Photography

Central Image: Getty Images/Torsten Silz

Middle Row: Shutterstock Images/Sven Hoppe

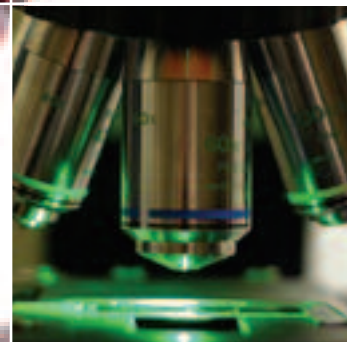
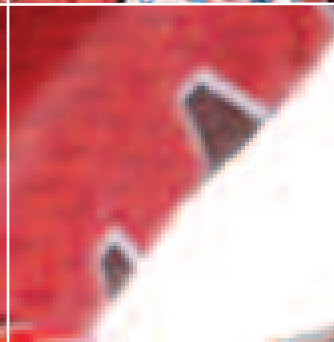
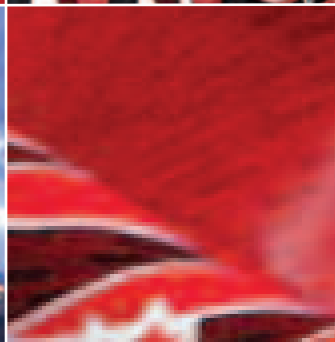
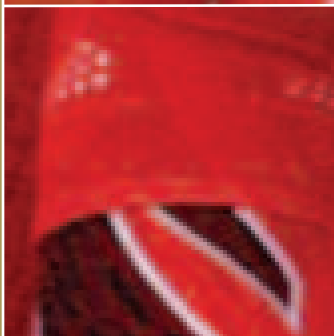
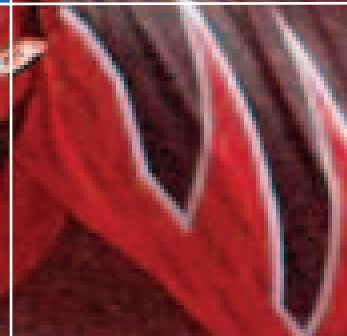
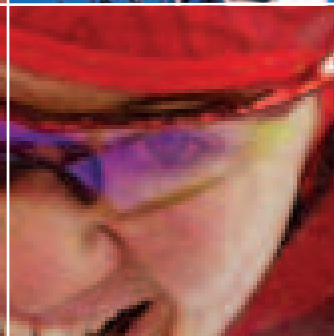
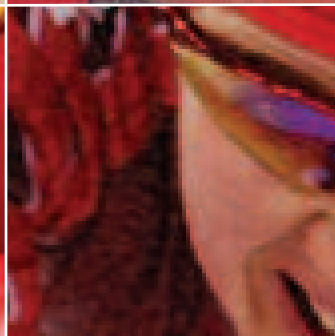
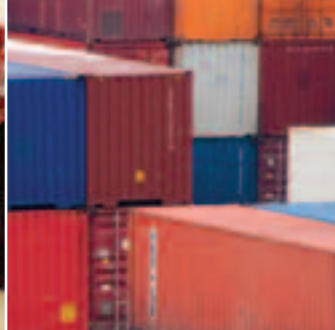
安定
優秀性
柔軟性
競爭力
実

実力 ■ 実績 ■ 競争力 ■ 卓越性 ■ 柔軟性 ■

性

生

持久力



この文書の資料は、「Invest in Canada (インベスト イン カナダ)」用にIEマーケット・リサーチ社が作成し、デザインは Five Stones Creative によるものです。この文書の情報は主要報告書に含まれるもので、www.investincanada.gc.ca/publicationsで閲覧可能です。カナダ政府はこの文書の内容に関して何ら責任を負うものではありません。

INVEST IN CANADA BUREAU (インベスト イン カナダ事務局)

Foreign Affairs and International Trade Canada

111 Sussex Drive

Ottawa, ON, Canada K1N 1J1

Email: investincanada@international.gc.ca

Website: www.investincanada.com

© Her Majesty The Queen in Right of Canada, 2009

Catalogue No. PDF: FR5-24/1-2009J-PDF

ISBN PDF: 978-0-662-03146-8

This document and additional information are available on the Web at:
www.investincanada.com

Également disponible en français sous le titre:

Investir au Canada: Visez l'Or

All dollars in Canadian currency, unless otherwise specified.

